

お知らせコーナー

【サポートセンターの講座・イベント情報】

日時・会場	講座・イベント名	内 容
10/18(土) 13時半～15時半 ブルーマープル	【ぶち交流座談会】 未来を切り開くために 役立つ本を紹介し合おう！	あなたが求める本に出会うチャンスです！ 参加者同士でお勧めの本を紹介しあい、交流を深めます。好きな本を1冊お持ちください。先着10名まで。 【参加費】ワンドリンクオーダー制(600円程度)
10/25(土) 13時半～16時 コムズ3F会議室2	【NPOの実務講座】 NPO法人の 認定取得講座	認定を取得できるとどうなるの？何をすればいいの？ 「仮認定NPO法人こころ塾」さんを講師に、認定NPO法人申請を学びます。先着15名まで(1団体3名まで)。 【参加費】500円(1グループ)
11/8(土) 10時～12時 コムズ4F創作室	【市民活動担い手講座】 NPOのはじめかた	ワクワクできる新しい人生、NPOからはじまるわ！ NPOってそもそも何？どうすれば設立できるの？そんな疑問を解決する基礎講座です。先着30名まで。 【参加費】無料
11/15(土) 13時半～15時半 コムズ3F会議室2	【ぶち交流座談会】 「個性」について考えよう	個性を楽しみにつなげるために 「個性に悩み、こうして乗り越えた」そんな経験を持つ方の、ここだけの秘密の座談会。先着15名まで。 【参加費】500円
12/14(日) 10時～16時 コムズ5F大会議室	【NPOの実務講座】 『アイデアがモリモリ浮かんで意見がスッカリまとまる会議のヒミツ』セミナー	「やるだけムダ！」な会議が、劇的に変わる瞬間とは？ 進行役のプロである青木将幸氏を講師に迎え、上手な会議進行のコツを学びます。先着10グループまで。 【参加費】5,000円／1グループ6名まで
12/20(土) 13時半～15時半 ブルーマープル	【ぶち交流座談会】 2014年を振り返ろう！	今年のあなたはどうか？ 個人のことから団体の事まで、仲間と共に2014年がどんな年であったかを振り返りましょう。先着10名まで。 【参加費】ワンドリンクオーダー制(600円程度)

【新しいスタッフが入りました】

9月から、サポートセンターの非常勤スタッフとして久保洋美(くぼ ひろみ)が新しく加わりました。主に土・日・祝日の出勤ですので、皆さんどうぞよろしくお願いいたします。



得意なことはイラストや文章を書くことです。よろしくお願いします。

お問い合わせは まつやまNPOサポートセンターまで
☎790-0003 松山市三番町6丁目4-20 コムズ内
Tel: 089-943-5790
Fax: 089-943-5796
E-mail: pico@npo.coms.or.jp



まつやまNPO 検索

まつやまNPOサポートセンターの情報誌

サポセンだより



特集 NPOの情報公開と情報保護のバランスはどうすべきか？

市民への情報公開が求められるNPO。どのようにすればよいのでしょうか？

お知らせ① NPOと地域をつなぐ「まち×えぬ かわら版」の発行がスタート

NPOを地域へ紹介する、広報誌プロジェクトがスタート！

お知らせ② 還暦交流集会 11/23(日・祝)開催！

「第2の人生を市民活動へ！」還暦世代のための交流会を開催します。

コラム チャレンジ認定NPO法人！あなたも認定取得を目指してみませんか？

適正な事務を評価される認定NPO法人を、あなたも目指してみませんか？

P R お知らせコーナー



【発行】
まつやまNPO
サポートセンター

NPOの情報公開と情報保護の バランスはどうすべきか？

NPOは、行政の制約をあまり受けないかわりに、透明性の高い会計や適正な事務を行っていることを、市民に開示することが求められています。では、どうやって、どのように、どこまで開示し、あるいは開示しないことが望ましいのか、検討してみました。

❖ 1. 必ず公開しておくべき情報は？

団体の連絡先と、お金と活動の報告書は、必ず公開しておくべき情報といえます。

連絡先が公開されていないければ、市民があなたの団体に連絡を取る方法がわかりませんし、報告書類を公開しなければ、何をやっている団体なのか外から全く見えないため、不審な団体と思われてしまいます。

● 連絡先は、何を公開する？

団体の連絡先情報として一般的なのは、団体名、代表者名、事務所の所在地、郵便番号、電話番号、FAX番号、メールアドレス、ホームページアドレスです。これだけの情報が公開されていれば、普通なら、何らかの方法であなたと連絡をとることができるでしょう。

ただし、不在がちである場合は、応対可能な時間帯を書いておくことも良い方法です。事務局が開いている曜日と時間を公開しておけば、市民は効率的に連絡をとることができます。

事務局が自宅にあるため、公開したくない…ということもあるかもしれません。そうした場合は、レンタルオフィスなどの間借りできるスペースを確保したり、地番の表示のみを差し控えたりするなどの方法がよいと思われます。



● 報告書は、どこまで報告すべきなの？

お金に関する報告は、できるだけ詳細にすべきであるといえます。一般的には、計算書類(収支又は活動計算書、貸借対照表、財産目録等)を公開することとなります。任意団体の場合は、1年間の収支を記す収支計算書だけを作成し、資産や負債の増減を記す貸借対照表等は作成しないこともありますが、貸借対照表は団体の財政的基礎力を表すものですので、できれば作成にチャレンジしてみることも有用です。

活動に関する報告は、その年1年間で取り組んだことを、要点よくまとめるとよいでしょう。きちんと

チャレンジ認定NPO法人！ ～あなたも認定取得を目指してみませんか？

NPO法人の中には、多くの人から支持されていることに加え、適正な運営と事務処理が行われていることを、行政機関によって認められたものがあります。それが認定NPO法人です。認定NPO法人制度は、寄付者に対して税務上の優遇措置をもたらすことができるもので、「税から寄付へ」と、私たち一人一人のお金の流れを変える力を持っています。

認定NPO法人になるには、愛媛県の場合、県による認定が必要です。それには、①書類審査、②実地調査の2つをクリアする必要があります。書類調査では、定められた様式に則った申請書と、それを説明するための添付書類が必要です。実地調査は、団体の事務所において、県の職員等が実際に運営で使用している書類等の確認を行います。

● 原則は、「お金の管理」と「事務の記録」が適正かどうかを確認

認定NPO法人になるためには、日々のお金の管理～決算・税務と、事務の記録～会員名簿の管理・総会や理事会の記録等の2つが、適正かどうかが大になります。記録漏れや計算ミスなどの間違いがないか、今一度確認してみましょう。

なお、収入のうち、原則20%以上が寄付金等であるか、毎年3,000円以上の寄付者等が100人いることが、認定取得の最大の条件になります。これらについては複雑な条件がありますので、一度サポートセンターにご確認ください。



● 各種規程類等の整備も必要。必要なら専門家の手を借りて

実地調査では、採択された助成金・委託事業の契約書や実施要項、請求書・納品書などの綴りに加えて、給与規程などの規程類も確認することがあります。そのため、団体の事務システムを一度カンベキに確認しておいたほうがよいでしょう。

また、自作の規程ではミスがあることもありますから、人事のことは社会保険労務士、会計のことは税理士、諸規程類は行政書士、登記に関しては司法書士などの専門家に確認・補正してもらうことが必要となることもあります。

● 寄付金が少ないなら…「仮認定」という手もある！

前述の寄付金についての要件が満たせていない場合、「仮認定」という制度もあります。これは、寄付金に関する要件を除いた、他の要件を満たしているNPO法人が取得できるもので、3年間の有効期間のうちに寄付金要件を満たして正式な認定を目指しましょう、というものです。

もし、寄付金は少ないけど、認定を目指したい…という場合は、こちらを目指されてもよいかもしれません。

サポートセンターでは、10月25日(土)に、認定NPO法人を目指す法人向けの講座を開催する予定です。当日は、仮認定NPO法人の事務局長を講師をお招きし、実例を交えた他では聞けないお話をさせていただきます。ぜひご参加ください！



還暦交流集会 11/23(日・祝)開催

～生涯現役、第二の人生を「市民活動」で☆

定年を迎える世代になって、仕事に向けていた時間とエネルギーを何に向けるべきなのか…今、「生涯現役」という言葉に、世間の注目が集まっています。趣味や新たな仕事、あるいは孫育て…というような選択肢のある中で、シニア世代の皆さんへ、「市民活動」にも興味を持ってもらいたいと考え、イベントを開催いたします。

開催日 11月23日(日・祝) 10時～16時

会 場 南海放送本町会館(本町1-1-1)

参加費 入場無料(飲食等一部有料)

主 催 松山市還暦交流集会実行委員会



● 竹下景子さん「還暦トークライブ」

俳優の竹下景子さんをお迎えして、南海放送ラジオ公開放送「還暦トークライブ」を行います。昨年は研ナオコさんをお迎えしましたが、その時は立ち見があふれるほどの来場者がありました。事前申込はありませんので、当日はお早めにお越しください。



● 還暦応援団によるステージショー

第2の人生を歩み始める人たちを応援する、「還暦応援団」によるステージショーを行います。「戦争を知らない子供たち」で有名な杉田二郎氏を迎え、歌やダンスなど、様々なパフォーマンスが行います。



● 昔懐かしい「学校給食カフェ」

あの頃の味を思い出して…昔懐かしい「学校夕食カフェ」が、今年もオープン。限定100食で、当時の学校給食で人気だったメニューを再現しています。お昼ごはんに、ぜひどうぞ！



● 第2の人生をよりよく過ごすための各種紹介・相談ブース

「生涯現役」を目指すあなたが、もっとイキイキできるためのサポートを、各種紹介・相談ブースでご提供します。

11/23は、ぜひ南海放送本町会館へお越しください！

正確に、すべて詳細に記していくやり方もありますが、それをやると報告を作るほうも、見るほうも、莫大なエネルギーを報告書に向けなくてはならなくなりますから、あまりお勧めはできません。

活動の報告書は、読み物として構成することをお勧めします。報告という機能だけをカバーするなら、表を作り、時系列に行ったことの記述と関連する数字だけを放り込めば完成です。ですが、それではだれにも読んでもらえない、記録のためだけの報告書になるため、お勧めはできません。

❖ 2. 公開したほうがよい情報、公開しないほうがよい情報

団体の情報の中にも、公開したほうがよいものと、そうでないものがあります。やみくもに公開したり、秘密主義になったりすると、いずれにせよ、いいことはありません。情報公開については、コントロールをしっかりと行い、バランスのとれたものにするべきです。

● 公開すべき情報は？

団体の信頼性を高めたり、方向性を打ち出したりする情報は積極的に公開するとよいでしょう。私たちは、一般的に、良く知らない相手のことは警戒します。ですから、「私たちはこんな団体です」ということを知ってもらうためによいと感じたことはどしどし公開するとよいのではないのでしょうか。

また、「私たちはこんなことをしたいと考えています」という将来の目標を打ち出したり、世間でニュースとなっていることに「私たちはこう考えます」と意見を表明したりすることも、信頼性を高め、ファンづくりにも役立つことがありますから、積極的に取り組むとよいでしょう。

● 公開しないほうがよい情報は？

公開してしまうと、かえって信頼性を損なう情報もあります。例えば、公開することで、誰かを傷つけてしまったり、社会的・経済的にダメージを与えることになってしまったりする情報です。具体的にはプライバシーに関することや、機密に属すること、相手からの同意を得ないで情報を公開してしまうことです。

また、人を不快にさせる情報を開示しないことは当然です。しかし、自分たちの活動に熱心なあまり、ついそうした情報(特に写真など)を開示してしまうことがあります。その多くは人や動物の生死に関わったり、思想や信条に関わったりするものですから、そういったものを取り扱う団体では、よく注意しておきましょう。



❖ 3. 気を付けたい、個人情報の保護

ホームページやブログ、事業報告書の公開などで気を付けたいのは、個人情報の保護です。

昨今、情報を発信する技術が急速に発展したからこそ、しっかりこのことに注意していなければ、予想だになかった被害が生じるおそれがあります。開示してよいもの、してはならないものを区分することで、問題発生を未然に防ぎましょう。

● 個人情報って何？

個人情報保護法によれば、個人情報とは「生存している個人を識別できる情報で、氏名、生年月日その他の情報（一部省略）」であり、顔写真などもそれに該当します。NPOの場合、会員名簿や役員名簿、あるいはイベント時に撮影した写真などが具体的な情報にあたります。



● 名簿の開示と管理はどうすべき？

会員名簿等については、よほどの必要がない限り開示するべきではないでしょう。イベント開催時などでは参加者名簿をスタッフ間で共有することもあります。が、不用意な情報流出を防ぐために、イベント終了後には回収し、破棄するなどの手当てをすることが必要です。

役員名簿は、住所を公開せず、氏名や肩書を公開することが望ましいといえます。役員は、団体の顔となる存在であるため、それを非公開とすることは市民の不信感を募らせます。むしろ、公開されることを望まない方は、団体の役員になるべきではありません。

● 写真撮影はどうしたらいい？

イベント時の写真撮影は、被撮影者への一言お願いが必要です。できれば、用途を明らかにすることが望ましいでしょう（内部の記録用、助成金の報告用、広報誌の掲載用…）。やむをえないときは顔が見えないように撮影したり、画像ソフトで加工したりするなどの手当てを行うこととなります。ただし、あまり見た目には美しくないため、なるべくご協力いただける方を撮影するようにするとよいでしょう。



今回は、情報の取扱いをテーマに検討してみました。

ただし、このテーマは考えることがまだまだ多く、今回の紙面では書ききれません。

また、様々な機会に、こうしたことをお話しできればと思います。

おしらせ① NPOと地域をつなぐ「まち×えぬ かわら版」の発行がスタート

NPOと地域をつなぐ「まち×えぬ かわら版」の発行がスタート

地縁団体とNPOが、力を合わせて、まちづくりに取り組んでいくことが、これからの社会では求められてきます。まつやまNPOサポートセンターでも、そうした環境の整備に向けて、様々な方策を立てています。今回は、その一部をご紹介します。

平成26年9月より毎月1回、市内のまちづくり協議会等の地縁団体に、NPOを紹介する広報誌「まち×えぬ かわら版」をお配りしています。広報誌の発行を通じて、地域社会の発展を応援するNPOを紹介し、地域とNPOがつながるきっかけを作ることがその目的です。

地縁団体とNPOが連携して、まちづくりをはじめとする公益活動を行うことは、全国でも様々な試みが行われています。ですが、地縁団体とNPOは、接点が多くないため、出会う機会が少ないことが課題です。そこで、まつやまNPOサポートセンターでは、次のような方法で、出会う機会を作ろうとしています。

● かわら版の発行～NPOを「売り込む機会」づくり

今回、発行をスタートした「まち×えぬかわら版」を通じて、地縁団体の皆さんにNPOのことを知っていただきます。地域社会にとって魅力あるNPOをご紹介することにより、地域で「何かやってみようかな…」と思った際に、NPOの出番が生まれるチャンスを作ります。



● 大小さまざまな交流会と講座を通じた、「出会いの場」づくり

地縁団体やNPOにとって有益な講座や、交流会を開催することにより、様々な主体が一つの場に集まるようにすることを通じて、出会いの場を作ります。「地域とNPOが接点を作ろう」と構えた場を作ると、どうしても意識が固くなってしまうがちです。そこで、気軽にコミュニケーションができる場を作るようにしています。

● ホームページ等でNPOの情報が得られる「データベース」づくり

また、色々な団体をよく知るためのツールとして、データベースを作ります。ホームページ等で検索できるようにすることで、いつでもNPOの情報を知ることができるようにします。また、地縁団体の情報も掲載することで、双方向の関係を作りやすくします。